

令和元年度 第2回学校関係者評価委員会 報告書

認定こども園かいけ心正こども園  
園長 吉田 典穂

○評価日 令和2年3月23日（月）～3月30日（火）

○場所 今回は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各委員の所に行き  
提言をいただいた。

○出席委員

学校関係者評価委員	所属
A 委員	小学校 校長
B 委員	公民館 館長
C 委員	主任児童委員
D 委員	主任児童委員
E 委員	保護者会 会長

○園からの説明・・・別紙参照① 令和元年度 自己評価公表シート

別紙参照② 令和元年度 学校評価保護者アンケート

○園からの説明に対して、学校関係者評価委員の皆様からの意見

- ・新型コロナウイルス感染症のため、園での対応は大変ではないか。  
⇒新型コロナウイルスという、あまり詳細のわかっていないウィルスのため、卒園式等のイベントについては、米子市からの通知をもとに、人命第一を考え、内容を縮小しながら行うようにしてきた。また、入園式も同様の対応をする。
- ・保護者の方から、かなり厳しい意見が多いが、園の考えをしっかりと伝えてもらう必要がある。  
⇒保護者の方からの意見については、園のことを考えて言っていたらいいと思いい、しっかりと受け止めご理解いただけるように説明をしていきたい。
- ・園が子どものことを考え、大事に方針等を出していることがよくわかる。
- ・小学校でも職員のWLBについて大事にしているが、仕事量に対してなかなか追いつかない。
- ・職員については、管理職の声掛けが大切だと思いい、日頃から一人一人の頑張りを認め、周りの人にも声掛けが広がっていくような職場作りを心掛けている。
- ・社会人教育も大切にしている。  
⇒園でも、定期的に面談やこまめに職員に声をかけながら、意見の吸い上げをしたり、仕事のやりがいや働きやすい雰囲気を作ったり心がけている。
- ・かんがるーくらぶ（親子同児通園教室）がなくなって残念である。  
⇒幅広く園のことをわかってもらうために、年間を通して未就園児のイベント等を計画している。

• 書道教室は、子どもたちにとってとてもいい経験である。

⇒来年度も、短期集中課外活動として計画している。

• 若い先生たちが多く、いい面もあれば、不安に思う保護者もいるのではないか。ベテランのパートの先生は、正職にはならないのか。

⇒若い先生もいれば、子育て中の先生もいて、だれもが保育の専門知識を持った職員であるので、しっかり子どもの成長を見守り援助し、保護者の方に安心してもらえるよう密に連携がとれるよう指導していきたい。

• アンケートの回収率を上げるにはどうしたらいいのか。

⇒今回は、玄関に回収ボックスを設置し、いつでも回収できるよう配慮を試みたが、目指していた回収率には至らなかった。来年度は、より保護者の方に興味を持ってもらい、回収率が上がるよう回収方法を検討していきたい。

⇒園からの回答

上記のようなたくさんのご意見を頂きましたので、本年度の園運営や保育に生かしていきたいと考えております。

以上